

2014年 年頭ごあいさつ

セブン&アイ・ホールディングス
会長兼最高経営責任者（CEO） 鈴木敏文

明けましておめでとうございます。私たちを取り巻く経済・社会状況は引き続き大きな変化の中にありますが、セブン&アイ・ホールディングスは、ほぼ計画通りの順調な業績推移となっています。

今年は4月に消費税率が8%に引き上げられます。昨年来、円安株高が続き、一部で明るい見通しも広がっていますが、景気自体は、決して自律的な回復基調ではないことは明らかであり、今回の消費増税は消費動向に大きな影響を及ぼすと考えられます。また、今年後半も、来年に予定される再増税を控えて、更に厳しい環境が続くと考える必要があります。消費の現場では価格競争の激化が予想されます。しかし、私たちグループは、そのような価格競争に巻き込まれることなく、商品、販売、接客などすべての面で「新しさ」「上質」を一貫して追求し続けなければなりません。

なぜなら、日常生活にモノが豊富に行きわたる中で、お客様は急いで商品を買う必要がなく、従来通りの商品はいかに価格を下げてでも買っていただけないからです。今のお客様は、思いもよらない新しさや上質を実現した商品・サービスにのみ、魅力を感じ消費意欲を持ってくださるのです。セブン&アイ・ホールディングス各社の業績をみても、総じて、積極的に新しいことに挑戦した会社や部門は好成績を上げ、過去の仕事の仕方から脱却し切れないところは厳しい業績に陥っています。今年は、『新しいことに挑戦する』ことが、これまで以上に重要です。グループを挙げて、新しい商品を積極的に導入するとともに上質な接客を進めることが、消費増税後の厳しい環境を乗り切る唯一の手段なのです。

また、今年はオムニチャネルの取り組みを、いっそう本格化していきます。17,000店舗以上の店舗網と独自の物流基盤を全国にきめ細かく展開し、百貨店、スーパー、専門店、コンビニなど多彩な業態を擁している流通グループは、世界を見回しても他にありません。様々な業態を網羅したオムニチャネルは、グループの特色と強みを最大限に発揮できる取り組みです。いつでもどこからでもネットを通じて、すべてのグループの商品・サービスに接し、身近なお店でそれを実感できる。そしてネットで注文した商品を身近なグループの店舗で受け取ることもできるといった、リアルとネットを融合したオムニチャネルを通じて、24時間いつでも、どこでもお客様のご要望にお応えすることが、私たちのさらなる成長につながります。

激しい変化の時代は、変化を先取りすることが成功への道です。社員一人ひとりが、頑張れば必ず報われるという強い信念をもって、新しいことに挑み、成功を手にしていくことを強く願っています。

（2014年1月4日 年頭朝礼あいさつ要旨）